

校長便り 怒濤 島

県立糸満高校

平成28年 6月6日 (月)
校長 辻上 弘子
第 5 号

「大望実践ここに創らん」の勢いでした

6月3日(金)「お願いだからキミの大切な時間を、両手の指の間からぽろぽろとこぼさないでくれ」という3学年主任の心の声が聞こえた集会でした。高校総体が終わり、3年特進クラスは翌日にベネッセマーク模試を控えた朝の体育館。見事な整列だったと生活指導部主任にお言葉をもらい、学年主任の先生の話に聴き入る3年生。総体後の生活の切り替えが必要であること、といって、部活が無いが為にできた時間を、自練やアルバイトに費やしてよいわけではないこと、これまで習慣となっている朝練の時間こそが勉強の時間にとって変わることが可能なこと、時給いくらで今の貴重な時間を大安売りしないこと、計画の無いところに行動はないのだから、まずは短いスパンで2週間だけはこれをやろうと決めて、これから受験生として励んで欲しいという話が胸にすんと落ちていった様子でした。全職員一丸となって進路実現に向けて全力で取り組んで参ります。わたくしどもは全身全霊でお子さまとつきあって参ります。どうぞ保護者の皆さまも、発展途上中我が子を激励してあげて下さい。

島尻地区高等学校 PTA 連合会総会 実に盛況でございました

島尻地区高等学校は10校ございます。6月4日(土)各校からPTA会長はじめ役員の方々、学校関係者が今年度幹事校の本校へ集まり、平成27年度事業報告、決算報告、平成28年度予算等を慎重審議致しました。まさに集結しましたと言う表現がぴったりなほど、PぱっとT楽しくA集まった会となりました。「全ては子どもたちのために、島尻は一つです」を合い言葉に幹事校として島高P連会長である石津会長(糸高PTA会長です)を中心に子どもたちのために、そしてわたくしたちも楽しく活動を進めていければと考えております。今後ともより一層のPTA活動へのご協力をお願いします。